記入例　(退職等による普通徴収切替の時)

異動後の未徴収税額を本人が納入する方法です。

給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

※処理事項	現年度	新年度	両年度	コピー済

税額通知書でお知らせしました、指定番号・宛名番号を記入してください。

異動届出書を市役所へ提出される日を記入してください。

結婚その他で姓が変更になる場合は記入してください。

異動された納税者名を記入してください。

異動された方の新住所地を記入してください。
異動後、住所不明の場合は、本籍地を記入してください。

該当する事由及び徴収方法を〇で囲んでください。

年税額から徴収済額を差し引いた残額を記入してください。

特別徴収税額通知書の個人別明細書に記載された合計年税額を記入してください。

徴収いただいた月割額の合計額を記入してください。

Ⅰ

〇〇　年　12　月　20　日提出

(宛先)富士見市長

給与支払者（特別徴収義務者）

住所(居所)又は所在地	〒 354-0021 富士見市大字鶴馬1800番地の××　フジミ
フリガナ 氏名又は名称	株式会社ふじみ
代表者の職氏名	代表取締役　富士見 一郎
個人番号又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 〇 〇 × ×

特別徴収義務者指定番号：1
宛名番号：1
※市区町村ごとに異なります

担当者連絡先：課・係　経理課 給与係／氏名　水谷 花子／電話　(049) 251 － 〇〇〇〇（内線　1234）

給与所得者															
受給者番号(整理番号)	フリガナ　フジミ タロウ												(ア)特別徴収税額(年税額)	(イ)徴収済額	(ウ)未徴収税額(ア)－(イ)	異動年月日
	氏名　富士見 太郎　（旧姓　）												円	6 月から 11 月まで	12 月から 5 月まで	〇〇・12・20
生年月日	昭和・平成　50 年 4 月 1 日															
個人番号	2	2	2	2	2	2	2	2	〇	〇	×	×	120,000	円 60,000	円 60,000	
1月1日現在の住所	富士見市羽沢2－××－×															
異動後の住所	志木市本町1－××－×															

異動の事由
1. 退職
2. 転勤
3. 合併
4. 休職
5. 長期欠勤
6. 死亡
7. 会社解散
8. 住所誤報
9. その他（特別徴収不可）

異動後の未徴収税額の徴収方法
1. 特別徴収継続（Ⅰと~~Ⅲ~~に記入）
2. 一括徴収（ⅠとⅡに記入）
※1月以降は必須
（　　月分で納入）
（　月　日納期分）
3. 普通徴収（Ⅰのみ記入）
理由
異動の事由のとおり

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

Ⅱ

一括徴収の理由	徴収予定		
1. 異動が　年　12 月　31 日までで、申出があったため（　月　日申出）	徴収予定月日	徴収予定額	徴収予定額合計
2. 異動が　年　1 月　1 日以後で、特別徴収の継続の希望がないため	・		
	・		
異動者印	・	円	

相続人の連絡先について ※わかる場合のみご記入ください。
氏名　続柄
所
電話

※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、次のいずれかの理由を必ず選択してください。

1	(普B)	他の事業所で特別徴収（例：乙欄適用者）
2	(普C)	給与が少なく税額が引けない
3	(普D)	給与の支払が不定期（例：給与の支払が毎月でない）
4	(普E)	事業専従者（個人事業主のみ対象）

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

Ⅲ

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号（※ 新規事業所の場合は記入不要です。）	
新しい勤務先の住所（居所）又は所在地	〒
フリガナ 氏名又は名称	
代表者の職氏名	
個人番号又は法人番号	

担当者連絡先：課・係／氏名／電話（内線　）

新しい勤務先では 月割額　円を　月分から徴収し、納入します。
受給者番号
新規の場合は、いずれかを〇で囲んでください。
納入書　要・不要

※市町村記入欄	年特	年普	口振	併徴
個人コード				
収納確認	／　月			
仮通知送付	／ 有・無			
納入書送付	／ 有・無			
つづり送付	／ 有・無			

【提出先】〒354－8511　富士見市大字鶴馬1800番地の1　富士見市役所 税務課 市民税係　電話(049) 252－7116(直通)